



灘黒岩水仙郷(あわじ花へんろ 第四十二番「花の札所」)

わたしたちのまちの 景況レポート No. 44

2025年10～12月期実績・2026年1～3月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

- 調査時期 : 2025年10~12月期実績・2026年1~3月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 670社
 製造業 151社 卸売業 97社 小売業 115社
 サービス業 117社 建設業 141社 不動産業 49社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、
 尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 - 「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」-「悪い」	良い>悪い	良い<悪い
売上額	前期(四半期)と比較した売上「増加」-「減少」	増加>減少	増加<減少
収益	前期(四半期)と比較した収益「増加」-「減少」	増加>減少	増加<減少
販売価格	前期(四半期)と比較した販売価格「上昇」-「下降」	上昇>下降	上昇<下降
仕入価格	前期(四半期)と比較した仕入価格「上昇」-「下降」	上昇>下降	上昇<下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」-「不足」	過剰>不足	過剰<不足
資金繰り	前期(四半期)と比較した資金繰り「楽」-「苦」	楽>苦	楽<苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部

担当：玉田、^{もみのき}樺木

TEL：0120-22-1020

業種別地区別天気図

業種	全事業地区 (670先)			淡路地区 (385先)			神明地区 (285先)		
	2025年 7~9月 (前期)	2025年 10~12月 (今期)	2026年 1~3月 (見通し)	2025年 7~9月 (前期)	2025年 10~12月 (今期)	2026年 1~3月 (見通し)	2025年 7~9月 (前期)	2025年 10~12月 (今期)	2026年 1~3月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調 ← → 低調

全業種

前期 今期 来期

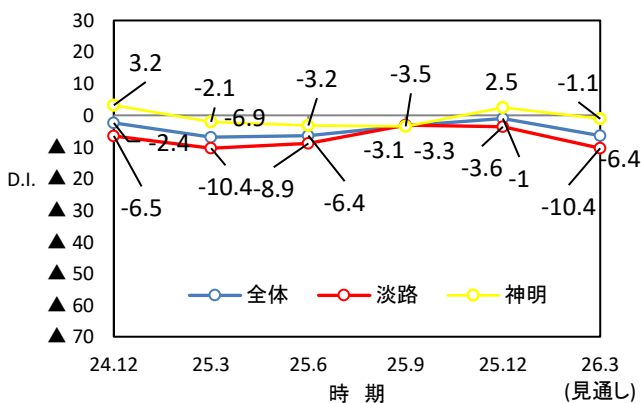
今期（2025年10～12月期）の業況判断D.I.は▲1.0と、前期（2025年7～9月期）▲3.3に比べ2.3ポイント改善となる。項目別では、売上額は5.8（前期1.5）と4.3ポイントの増加、収益は0.0（前期▲1.8）と1.8ポイント増加となった。販売価格は22.8（前期21.7）と1.1ポイント上昇、仕入価格も41.3（前期37.8）と3.5ポイント上昇している。

人手過不足については▲25.8（前期▲24.8）、来期は▲25.7と、変わらず大幅なマイナスの状態が続くことが見込まれる。資金繰りについては、▲7.6（前期▲7.9）と横ばいの状態である。

来期（2026年1～3月期）の業況判断D.I.については▲6.4と5.4ポイント悪化する見通しである。

業種別では、製造業及び小売業が改善の見通しで、その他の4業種（卸売業・サービス業・建設業・不動産業）悪化を見込んでいる。

業況判断D.I.の推移（地区別）



	25年 9月 (前期)	25年 12月 (今期)	26年 3月 (見通し)
業況 (D.I.)	-3.3	-1.0	-6.4
売上額(前期比)	1.5	5.8	-6.7
収益(前期比)	-1.8	0.0	-9.9
販売価格(前期比)	21.7	22.8	10.7
仕入価格(前期比)	37.8	41.3	29.4
人手過不足(過剰-不足)	-24.8	-25.8	-25.7
資金繰り(楽-苦)	-7.9	-7.6	-6.0
設備投資実施企業割合(%)	13.8	15.9	13.8

製造業

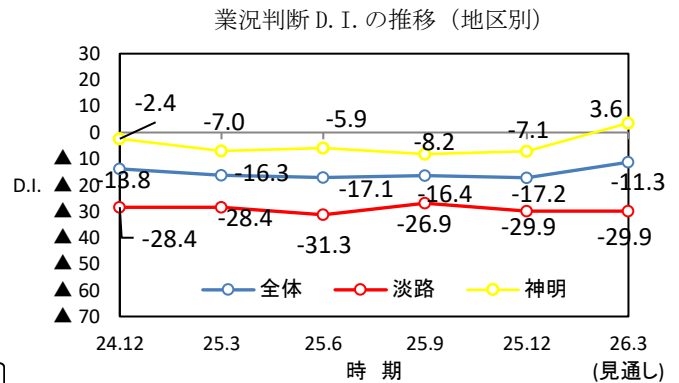
前期 今期 来期

今期の業況判断D.I.は▲17.2(前期▲16.4)と0.8ポイントの改善となった。地区別の業況は、淡路地区▲29.9(前期▲26.9)と3.0ポイントの悪化、神明地区▲7.1(前期▲8.2)と1.1ポイントの改善となった。来期については、業況が▲11.3と5.9ポイント改善見込みと予想、売上額は3.3ポイント悪化、収益も6.0ポイント悪化の見込みとなっている。

お客様の声

機械化を推進しており、生産性向上に取り組んでいる。効率化を図り、自動化やロボット技術を導入することで人的リソースを有効活用する方法を模索している。(淡路)

関税問題以降、メイン販売先からの受注が2割程度減少している。夏場以降には半導体の増産による受注増加が見込まれている。外国人の技能実習生の雇用により人材を確保している。(神明)



(D.I.)

	25年9月 (前期)	25年12月 (今期)	26年3月 (見通し)
業況	-16.4	-17.2	-11.3
売上額(前期比)	-3.3	-6.0	-9.3
収益(前期比)	-6.6	-6.6	-12.6
販売価格(前期比)	28.3	19.2	11.9
仕入価格(前期比)	45.4	45.0	28.5
人手過不足(過剰-不足)	-30.3	-26.5	-27.2
資金繰り(楽-苦)	-17.1	-16.6	-13.2
設備投資実施企業割合(%)	17.1	18.5	14.6

卸売業

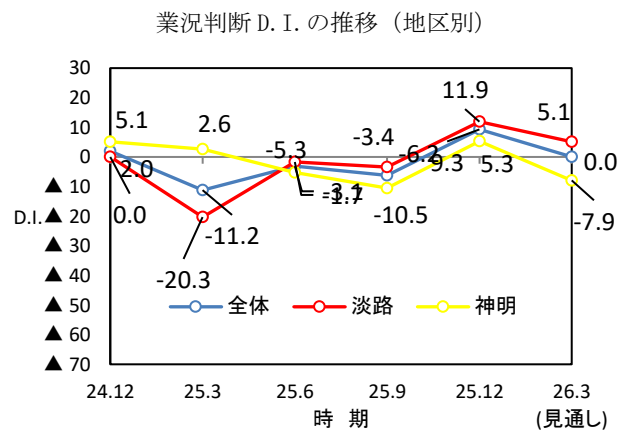
前期 今期 来期

今期の業況判断D.I.は9.3(前期▲6.2)と15.5ポイントの大幅な改善となった。地区別の業況は、淡路地区11.9(前期▲3.4)と15.3ポイントの改善、神明地区は5.3(前期▲10.5)と15.8ポイントの改善となる。来期については0.0と9.3ポイント悪化の見込みである。売上額・収益についても今期より悪化する見込みとなっている。

お客様の声

頻繁に発生する仕入価格の高騰にも柔軟に対応し、堅調な業績を維持しており、資金面においても懸念ない。課題としては、働き手の高齢化が挙げられる。(淡路)

同業者間の価格競争と、取引先の高齢化による廃業が懸念材料であるが、適正な単価設定で収益維持を図り、仕入先からの紹介で新たな外注先を確保し、安定した営業基盤を築いていきたい。(神明)



(D.I.)

	25年9月 (前期)	25年12月 (今期)	26年3月 (見通し)
業況	-6.2	9.3	0.0
売上額(前期比)	-11.3	14.4	1.0
収益(前期比)	-13.4	9.3	-1.0
販売価格(前期比)	10.3	27.8	12.4
仕入価格(前期比)	32.0	38.1	28.9
人手過不足(過剰-不足)	-13.4	-17.5	-12.4
資金繰り(楽-苦)	3.1	0.0	1.0
設備投資実施企業割合(%)	12.4	16.5	15.5

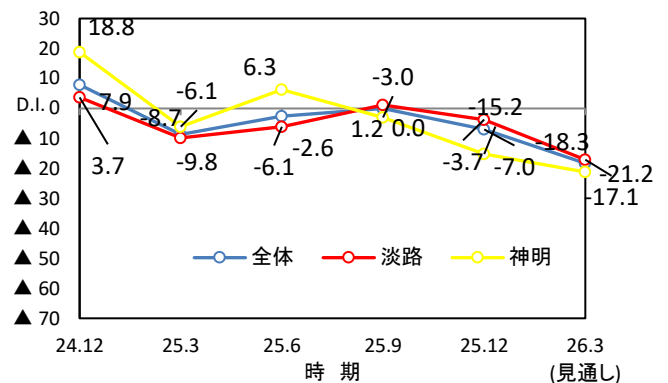
小売業

前期 今期 来期



今期の業況判断D.I.は▲7.0(前期0.0)で7.0㊦の悪化となった。地区別では、淡路地区は▲3.7(前期▲1.2)と2.5㊦悪化、神明地区は▲15.2(前期▲3.0)と12.2㊦悪化している。来期の業況は0.0と7.0㊦の改善見込みであるも、売上額・収益については今期より減少する見通しとなっている。

業況判断D.I.の推移(地区別)



(D.I.)

	25年9月 (前期)	25年12月 (今期)	26年3月 (見通し)
業況	0.0	-7.0	0.0
売上額(前期比)	5.2	7.0	-12.2
収益(前期比)	2.6	-1.7	-11.3
販売価格(前期比)	24.3	26.1	15.7
仕入価格(前期比)	29.6	32.2	20.0
人手過不足(過剰-不足)	-12.2	-13.9	-16.5
資金繰り(楽-苦)	-8.7	-9.6	-7.0
設備投資実施企業割合(%)	7.0	8.7	4.3

お客様の声

半導体不足による納車遅れは改善されているものの、付近の販売店との価格競争激化など課題は多い。今後はアフターケアを更に充実させ、他店との差別化を図っていく。(淡路)

物価高が続いていることから、海外を含めた今後の動向に注視している。課題としては継続的な人材確保、定着率である。(神明)

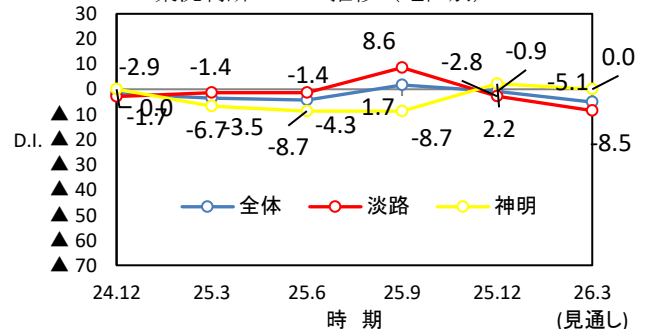
サービス業

前期 今期 来期



今期の業況判断D.I.は▲0.9(前期1.7)となり2.6㊦悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲2.8(前期8.6)と11.4㊦の悪化、神明地区は2.2(前期▲8.7)で10.9㊦の改善となる。来期の業況は、▲5.1㊦、売上額▲4.3、収益▲10.3と悪化見込み、人手過不足は▲32.5㊦と高い水準で不足が続く見通しである。

業況判断D.I.の推移(地区別)



(D.I.)

	25年9月 (前期)	25年12月 (今期)	26年3月 (見通し)
業況	1.7	-0.9	-5.1
売上額(前期比)	14.7	2.6	-4.3
収益(前期比)	8.6	-7.7	-10.3
販売価格(前期比)	19.8	21.4	10.3
仕入価格(前期比)	33.6	39.3	31.6
人手過不足(過剰-不足)	-33.6	-33.3	-32.5
資金繰り(楽-苦)	-8.6	-11.1	-11.1
設備投資実施企業割合(%)	17.2	18.8	19.7

お客様の声

人手の確保や機械化の推進を図っており、積極的に補助金、助成金を活用している。物価高騰の影響を受けるも、料金価格へ転嫁している。(淡路)

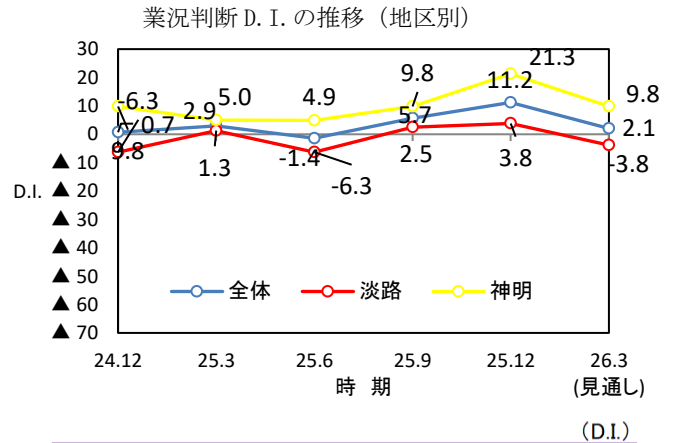
人手不足が課題であり、人材募集をかけているが新たな雇用に至っておらず、従業員への負担が増大している。先行きについては、営業基盤の確立が図られていることから、堅調に推移するものと見込んでいる。(神明)

建設業

前期 今期 来期



今期の業況判断 D. I. は 11.3(前期 5.7)と 5.6 ㊦上昇となった。地区別の業況は、淡路地区は 3.8 (前期 2.5) と 1.3 ㊦上昇、神明地区は 21.3 (前期 9.8) と 11.5 ㊦の上昇となった。来期の業況は 2.1 と低下の見通しである。人手過不足については、▲38.3 で慢性的な人手不足の状態が継続する見通しとなっている。



	25年 9月 (前期)	25年 12月 (今期)	26年 3月 (見通し)
業況	5.7	11.3	2.1
売上額(前期比)	3.5	14.2	-5.0
収益(前期比)	-1.4	7.8	-11.3
販売価格(前期比)	23.4	23.4	4.3
仕入価格(前期比)	48.2	53.9	39.0
人手過不足(過剰-不足)	-34.8	-37.6	-38.3
資金繰り(楽-苦)	-7.1	-0.7	-0.7
設備投資実施企業割合(%)	14.2	16.3	14.9

お客様の声

神戸地区での受注増加に努めた結果、受注状況は良好で安定した業績推移。人員についても若手・ベテランとバランスよく雇用しており、次期後継者の育成も行っている。(淡路)

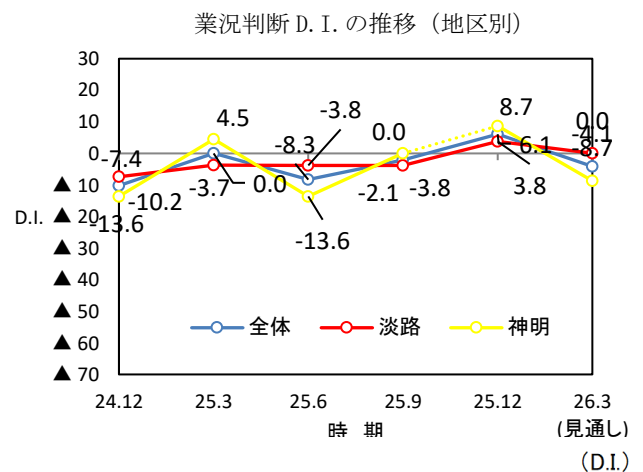
材料費高騰、外注費負担については転嫁・交渉を行っているが、思うように改善が進んでいない。慢性的な人手不足は深刻な問題で、外国人労働者の雇用で対応しているが、入れ替わりも激しく、教育訓練強化を図っている。(神明)

不動産業

前期 今期 来期



今期の業況判断 D. I. は 6.1(前期▲2.1)と 8.2 ㊦改善となった。地区別の業況は、淡路地区は 3.8 (前期▲3.8)、神明地区は 8.7 (前期▲0.0) と上昇となった。来期の業況予想は、▲4.1 と 10.2 ㊦悪化、売上額、収益も共に減少する見通しとなっている。



	25年 9月 (前期)	25年 12月 (今期)	26年 3月 (見通し)
業況	-2.1	6.1	-4.1
売上額(前期比)	-4.2	6.1	-12.2
収益(前期比)	0.0	2.0	-10.2
販売価格(前期比)	16.7	18.4	12.2
仕入価格(前期比)	25.0	26.5	22.4
人手過不足(過剰-不足)	-10.4	-16.3	-16.3
資金繰り(楽-苦)	0.0	-2.0	2.0

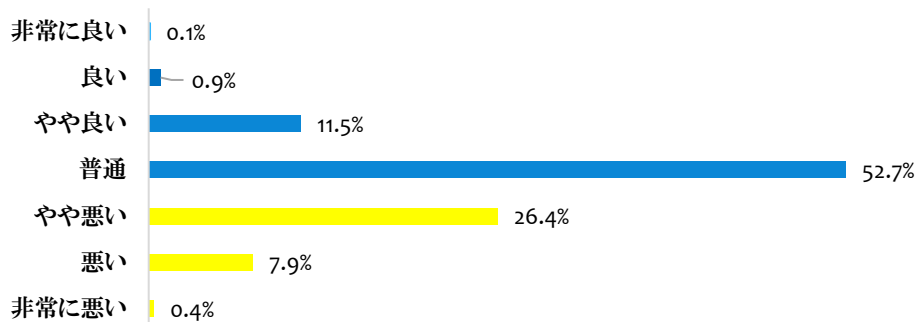
お客様の声

淡路島内の不動産ブームは落ち着きはじめているが、商品土地・物件の確保が課題である。営業担当を増やしたいが、人材の確保は依然として厳しい。(淡路)

PJ案件に関しては、土地仕入価格、建築コストが上昇している反面、購入者層の購買意欲は低下している。長期保有の在庫に関しては値下げして順次販売している。収益物件は高い入居率で推移しており、積極的に仕入れていく。(神明)

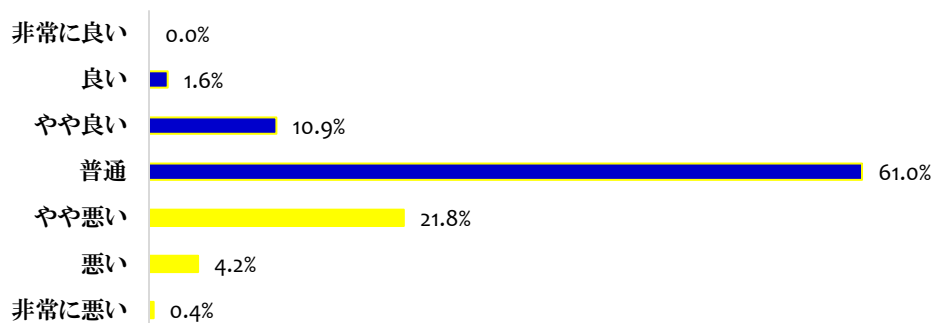
問1. 貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますか。

2026年の日本の景気見通しについて、「良い」(「非常に良い・良い・やや良い」の合計)とする回答は12.5%、「悪い」(「やや悪い・悪い・非常に悪い」の合計)が34.7%で、「良い-悪い」は△22.2%となった。業種別では、小売業の「良い-悪い」が△33.9%、製造業が同△19.9%であった。



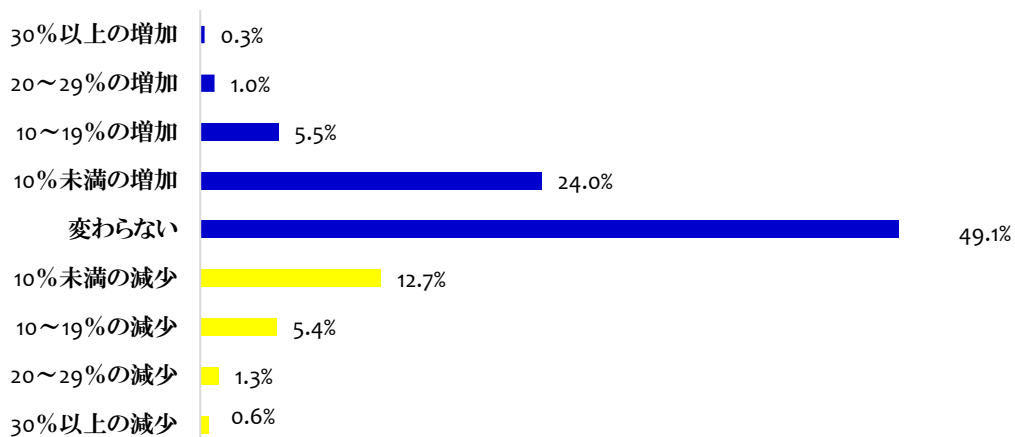
問2. 貴社では、2026年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

2026年の自社の業況(景気)見通しについては、全体では「良い-悪い」が△13.9%、業種別では小売業が△21.8%、製造業が△12.6%であった。全業種において「悪い」の回答が「良い」を上回っていた。



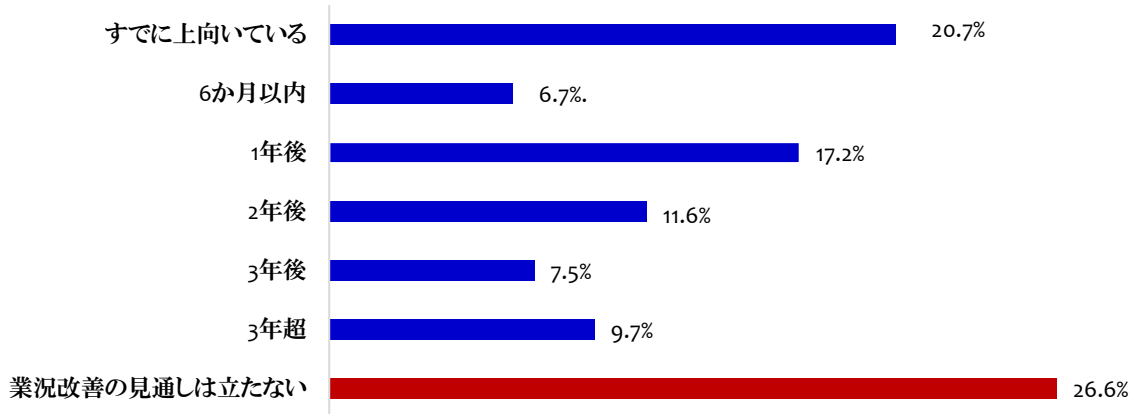
問3. 2026年において貴社の売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

2026年の自社の売上額の伸び率について、「増加」とした回答は30.8%、「減少」は20.0%で、「増加-減少」が10.8%であった。業種別の「増加-減少」は、卸売業の23.7%が最も高く、次いで建設業11.4%であった。最も低かったのは小売業の0.0%であった。



問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか

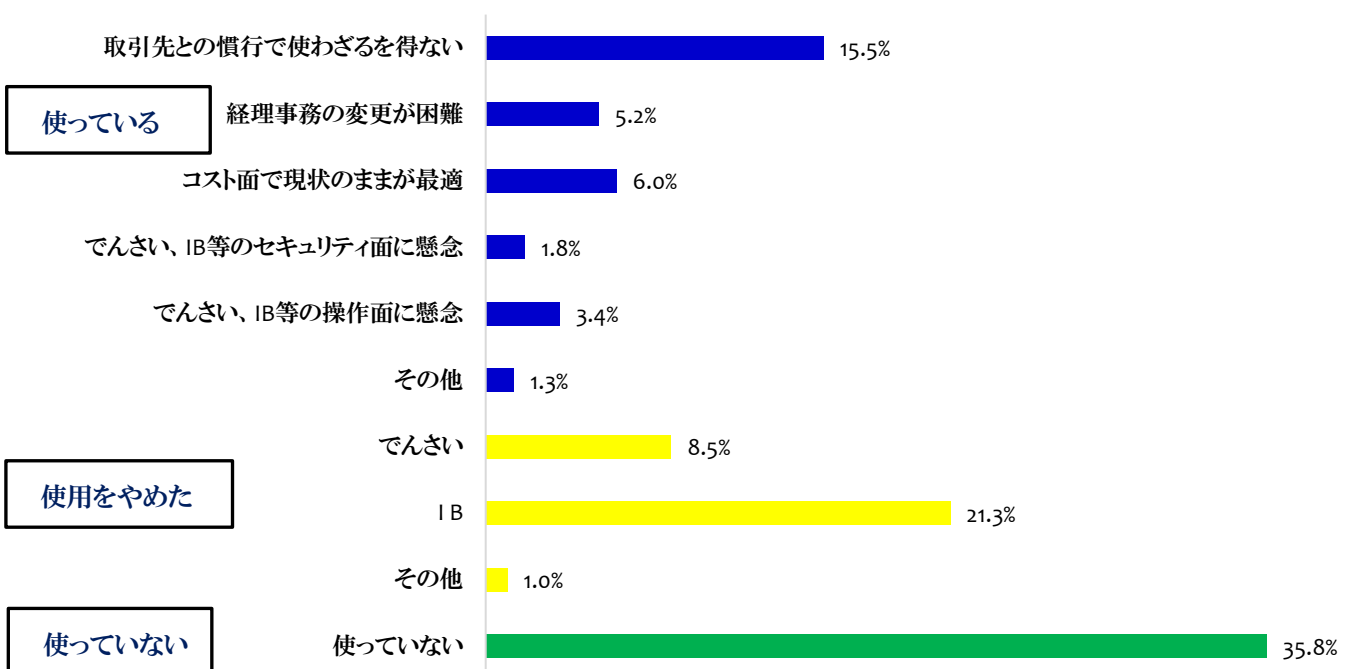
自社の業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しが立たない」の回答が26.6%と最も多く、次いで「すでに上向いている」20.7%、「1年後」17.2%であった。「改善見通しが立たない」と回答した割合が多かった業種は、小売業35.7%、サービス業29.9%、製造業26.5%であった。



問5. 紙の手形・小切手の利用状況について。貴社では、現時点で企業間の資金決済手段として、紙の手形小切手を使っていますか。使っている場合はその理由を、もともと使っていたがやめた場合は現在の主な資金決済手段を回答ください。(選択肢上の「IB」はインターネットバンキング)

「紙の手形・小切手を使っている」との回答は33.2%、その内「取引先との慣行で使わざるを得ない」が15.5%、「コスト面で現状のままが最適」6.0%、「経理事務の変更が困難」5.2%となった。

一方、「やめた」は30.8%で、現在の主な決済手段として「IB」が21.3%、「でんさい」が8.5%であった。

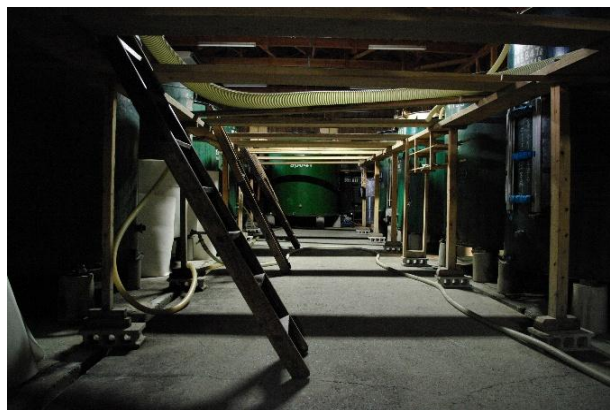


わたしたちのまちの元気企業 ⑤⑤



万葉の昔より「御食向かふ」を枕詞に読まれた淡路島。古事記では食材はもとより水までもが朝廷へ献上されていたそうです。その恵まれた島、久留麻の里で明治8年より造り酒屋として手造りにこだわり150年になります。

漁師町の酒蔵ということで濃醇でキレの良い酒質を目指し、地酒としての伝統を守るべく日々精進しております。



手造りの小さな酒蔵の雰囲気は篠原監督の目にとまり、映画「種まく旅人・醗のささやき」で千年一が撮影の舞台となりました。



秋に収穫した酒米で仕込んだ新酒が出来上がり、伊弉諾神宮の新嘗祭に奉納させていただきました。12月1日には新しい杉玉を吊るしかえました



千年一酒造株式会社

住所：〒656-2311 兵庫県淡路市久留麻 2485-1

電話番号：0799-74-2005

ホームページ：<https://sennenichi.co.jp>

アクセス：淡路島 東浦インター下車 南へ7分
仮屋バス停より徒歩1分

わたしたちのまちの元気企業 ⑤⑥

SPA & ESTHETIC DISPATCH HAIR

1972年に理容室を開業。2005年に法人化。西宮の地で53年の歴史。

「男の美容室」というコンセプトに男性の美に追求した理容室を現在3店舗営業。

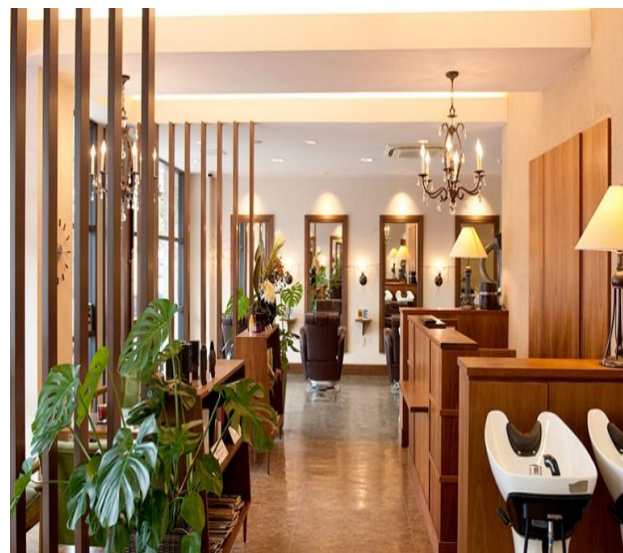
100歳になってもカッコよく、美しくをテーマに DISPATCH HAIR プロデュースの訪問カットサービス「CASA」で高齢者の方の元へも訪問カットへお伺いしています。



1972年開業した当時のお店椅子3台の理容室からスタートしました。



【甲子園本店】



店内はホテルのロビーのようなサロンづくりとなっています。

DISPATCH HAIR

【甲子園本店】 〒663-8185 兵庫県西宮市古川町 2-25 0798-46-3994
(臨港線沿い 鳴尾消防署 (東隣り))
阪神本線「武庫川大学院前駅」より徒歩 10分

【今津店】 〒662-0923 兵庫県西宮市浜松原町 1-26 0798-31-622
阪神本線「今津駅」南出口より徒歩 10分

【西宮店】 〒662-0916 兵庫県西宮市戸田町 2-15 0798-22-5210
阪神本線「西宮駅」市役所出口より徒歩 10分